

報 道 資 料

令和元年11月19日
消費・生活安全課
食品安全推進係
担当：松村、吉本
内線：3182、3185
ダイヤル：27-8681

食中毒事件の発生について ～ツキヨタケ(毒キノコ)による食中毒～

令和元年11月14日(木)午後9時40分頃に吉野郡大淀町内の医療機関の医師から、「キノコによる食中毒の疑いがある患者を診察した」旨の連絡が吉野保健所がありました。

同保健所が調査したところ、患者は吉野郡下市町在住の女性で、11月13日(水)に同町内の山林でキノコを採取し、11月14日(木)に自宅で煮物の調理をして、午後5時頃に喫食したのち、午後7時頃から嘔吐し、症状が治まらないため、医療機関を受診し入院しました。

吉野保健所及び県森林技術センターにて、患者が採取したキノコの残品を確認したところ、ツキヨタケ(毒キノコ)であることが判明したこと、患者の症状及び発症時間がツキヨタケによる食中毒症状と一致すること及び医師から届出があったことから、吉野保健所ではツキヨタケによる食中毒と断定しました。

なお、患者は、11月15日(金)に退院し、快方に向かっています。

発生日時	令和元年11月14日(木)午後7時頃
患者関係	患者数：1名(80代の女性) うち受診者：1名(入院者：1名)
主症状	嘔吐
発生場所	吉野郡下市町内の家庭
原因食品	ツキヨタケ
病因物質	自然毒(植物性自然毒)
措置等	吉野保健所員から患者に対し、毒キノコについて説明を行いました。

メニュー	家庭で調理したキノコの煮物(ツキヨタケ)
------	----------------------

◎有症者の発生状況

年齢	～9歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	～89歳	合計
男性	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
女性	()	()	()	()	()	()	()	()	1(1)	1(1)
計	()	()	()	()	()	()	()	()	1(1)	1(1)

()受診者 再掲

住所別

吉野郡下市町：1名

参 考

食中毒発生状況（奈良市を含む）

本年度（本件を含む）	件数： 3件	有症者数： 10名
昨年同時期	件数： 4件	有症者数： 89名
昨 年 度	合計： 9件	有症者数： 198名

★報道機関の皆様へ★

ツキヨタケによる食中毒を防ぐため、県民の皆様への下記事項の情報提供・啓発にご協力をお願いします。

<毒キノコによる食中毒防止のための注意事項>

食用のキノコであると判断できないキノコは、絶対に採らない、食べない、売らない、人にあげない（もらわない）ようにして下さい。

キノコを食べて体調が悪くなったら、すぐに医師の診察を受けて下さい。

奈良県ホームページ（消費・生活安全課）において、毒キノコによる食中毒に対しての注意喚起を行っています。

ツキヨタケによる食中毒について

<特徴>

ツキヨタケはキシメジ科ツキヨタケ属に属し、食用キノコ（ヒラタケ、ムキタケ、シイタケ）と間違えやすいキノコです。

傘の大きさは大型で10～20cm程度で、傘の色は初め黄褐色で、成熟すると紫褐色～暗紫褐色です。傘の形は、半円形ですが、まれに円形で濃色の小鱗片を有します。ひだは白から薄い黄色で幅は広いです。柄は、太く短い柄が傘の側方に付くものが多いですが、中央に付くものもあります。ひだの付け根につば様の隆起帯があり、色は傘より淡色です。肉の内部は暗紫色～黒褐色のしみがあります。このしみは不明瞭なもの、ないものもあります。

<分布及び症状>

ツキヨタケは、夏から秋にブナ、イタヤカエデなどの木に重なり合って発生します。食後30分～3時間程で嘔吐、下痢、腹痛などの消化器系の中毒症状が現れます。幻覚痙攣けいれんを伴う場合もありますが、翌日から10日程度で回復します。



<写真出典：厚生労働省ホームページ>

